

## 江南市廃棄物減量等推進協議会 平成30年度第1回会議（議事要旨）

●日時 平成30年5月30日（水） 午後2時～午後15時30分

●場所 江南市防災センター2階 セミナー室

●出席委員（22名）

会長	岩井喜美子	副会長	前田幸男
委員	滝 充 宏	委員	望月晴夫
委員	苅谷有朗	委員	藤田泰雄
委員	堀場敏之	委員	政木幸吉
委員	黒岩弘子	委員	武田ともみ
委員	川合龍司	委員	暮石浩章
委員	小林弘子	委員	松浦大介
委員	重野英明	委員	古田一二三
委員	田中義和	委員	須賀弘明
委員	阿部枝美子	委員	尾関雅宣
委員	高木則雄	委員	加藤雅子

●欠席委員（8名）

委員	岸 信 勝	委員	森 誠 治
委員	山口幹夫	委員	土井謙次
委員	岩田節明	委員	水野祐助
委員	馬場智紀	委員	西部茂夫

●事務局

環境課長	阿部一郎
環境課主幹	牛尾和司
環境課副主幹	青山 守
環境課主事	小塚洋平
環境課書記	高田奈美

●会議経過

■あいさつ等

■議題1 平成30年度事業計画(案)について

(事務局) 資料1ページの説明

■議題2 平成30年度予算概要について

(事務局) 資料2~3ページの説明

■議題3 特別委員会委員選出について

(会長) 特別委員会会長を推薦により選出後、委員の選出

■議題4 環境フェスタ江南実行委員選出について

(会長) 環境フェスタ江南実行委員選出後、役員の選出

■議題5 その他

①平成29年度ごみ減量「57運動」実施事業報告について

②平成29年度江南丹羽環境管理組合ごみ搬入量について

③平成29年度江南市レジ袋削減推進委員会収支報告について

④平成30年度江南市一般廃棄物処理実施計画について

⑤ごみ減量啓発キャンペーンについて

(事務局) 資料6ページ~23ページの説明

(委員) 資料13ページの前年比の表現は分かりづらく、5年推移であれば、5年間の指標がわかるようにしたほうがよいと思う。

(委員) グラフが見やすく、月別で変動があるのは面白いと思う。

(委員) 月別で変動があるのは、日数も関係していると考える。変動に合わせて何か運動をしてはどうか。

(事務局) 家庭からの可燃ごみは平成24年度から草・剪定枝を資源ごみとして回収をはじめている。8月はお盆もあり、果物や夏休みもある関係で増えており、2月は草が少ない。可燃ごみ袋の中の約7%を混入した草が占めている。

(委員) 全体として、前年比ではごみの量を把握できないので、例えば平成25年を固定とした定年で見ることにするなど、目標値が分かりづらい。前年度が多ければ翌年減っても分かりづらいため、評価の仕方を変えたほうがよいのではないか。

(委員) 可燃ごみの中には、選定枝が多く混入しているということだが、申し訳ないが、可燃ごみとして出している。リサイクルステーションでも収集できないか。

(事務局) 和田のリサイクルステーションでは、草・剪定枝、中型ごみを収集していな

い。ストックヤードの確保が課題で、今すぐはできないが検討段階にある。

- (委員) リサイクルステーションに置く場がないのはわかっているが、家庭に草を置いた状態はできないため、善処ではなく、実際に可能かどうかを知りたい。現状だと、可燃ごみとして出している。
- (委員) 草について、分別の日に合わせて出すことができるようにしている。ダンボールや袋など何でも入れておくことができる。
- (委員) 剪定枝を資源ごみに出すのは若い人であり、高齢者は資源ごみ置き場に持っていけない。剪定枝は週に1回収してほしい。
- (委員) 家に剪定枝を置いておくと、放火の種になるため、現実問題おいておくことができない。一斉清掃を行ったとしても、次の可燃ごみで出されている。
- (委員) 資源ごみを出す時間は8時30分までと決まっているが、とある区では8時までとなっているが、どのように考えるか。また、シルバー人材センターに立ち当番を依頼している件についてはどのように考えるか。
- (事務局) 収集時間について、市では8時30分までとしているが、始まりの時間は制約をしていないので、区によってばらつきもあるが、区に任せている。
- (委員) シルバー人材センターについては、前飛保区で今年度から試験的に行っているが、4役が必ず立っている。人が集まればトラブルが起きるのは当たり前で、波風がたっていないとはいえないが、許容範囲だと思う。
- (事務局) 区によって立ち当番への考え方は異なっており、区によって人数もバラバラ、シルバー人材センターの契約も区で行っている。